

1960-1

- ① カナダとアメリカの印象……………1
- ② 産業の拡大か国土の保全か……………4
- ③ 松川地熱地帯の物理探査……………12
- ④ 花粉と胞子の化石……………19

地質ニュース No. 65

表紙の写真

結晶片岩 四国路④

四国と言えはやはり結晶片岩であろう。清水構造帯を研究している学友鈴木君の薄片を借りて micro photography を試みるうちに面白いモチーフをつかんだ。これは砂岩片岩と黒色片岩の一断面 $S S_2$ を写したものである。それは初めて徳島の地に降り立った時のことだったと思う。お城の石垣も公園の小僧もいろいろな結晶片岩の組合せであった。広島花崗岩のまんなかに育った私には 礎石も石垣も石とは花崗岩と思いついていた。四国の山村を歩きながらそんな幼少の頃を思い起したことを覚えている。

アリストフォート A-1 乾板 コレクター変液 3分 月光 V-3
コントロール (1/5 万 大樹)



行程図

まえがき

私は TAOとECAFEの共催による アジア極東地域12カ国の地質および鉱山専門家視察団の一員として 34年8月14日羽田を出発し アメリカ・カナダ両国の地質調査事業と鉱山事情を 2カ月にわたって視察してまいりました。詳しい技術的報告は 追って発表する予定であります。とりあえず簡単にアメリカとカナダで受けた印象の 2・3 を述べましょう。

繁栄その極に達しているアメリカそして世界のホープカナダ。これがこのたび私が旅をした地質家としての最少言の印象です。

アメリカは資源が豊富 加うるに技術と学問のこんぜんとした みごとな駆使によって現在の繁栄を築きあげています。現在の低品位鉱の開発利用もアメリカなれ

カナダと アメリカの印象

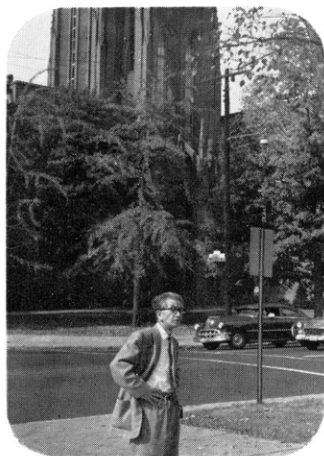
所長 兼子 勝

ばこそと考えます。あの様相を日本にもってきてもあてはまらないでしょう。土地は狭くて 人家は稠密 廃石の捨て場所もないようなわが国ですから 他の ECAFE の人たちは感心していたようですが 少なくとも日本から行った 森仙台通産局鉱山部長と私はそのままのみませんでした。とくに森さんは 一言 日本では適用せられないというようなことを 会議の席上発言されていた。いくらアーカンソー州レイノルド鉱山のアルミナが Silica 10% 以上のものであってもまた Open cut の場合 銅の品位が 0.8% 以下のものであってもあるいはカナダ Elliot lake 地帯のウラン鉱山が平均品位 U_3O_8 0.11% のものを採っていても 結局はその場所環境によるもの 要は日本には通じないということです。ただし彼等の科学的操作については 私たち日本



- ① サラワク カーク博士
- ② マラヤ アズグディン氏
- ③ インドネシア ヨハネス氏
- ④ フィリピン ビララザ氏
- ⑤ 森仙台通産局鉱山部長
- ⑥ ホンコン デービス教授
- ⑦ エカフェ リー博士
- ⑧ 兼子地質調査所長
- ⑨ イラン ミルアフザリ氏
- ⑩ 韓国 リー氏
- ⑪ マラヤ チュン氏
- ⑫ 台湾 ビック氏
- ⑬ タイ ジャバナフェット氏
- ⑭ セイロン シリマンネ氏
- ⑮ タイ カアオサイ氏
- ⑯ インド チャタルジー氏

東京羽田空港出発の視察団一行



コネチカット州のニューヘブーン市のエール大学で兼子地質調査所長

人は大いに学ぶべきものがあると反省させられました。

次に 私のいう世界の希望であるカナダのことを記さねばなりません。ご存知の通り国土の東半 $1/2$ はいわゆる Canadian Shield であって Proterozoic Archean の発達している地帯です。

この地域には Favcon bridge のニッケル Elliot Lake のウランウム そして五大湖付近の石油・天然ガスまであります。ここの石油は Canadian Shield にとっては全くアクセサリにすぎません。なぜならば 次のように カナダは今アルバータ州の開発による石油ブームでもあるからです。戦時ならびにそれ以降 アルバータ州に石油と天然ガス鉱床が発見されました。そして現在はどんどんアラスカ方向すなわち北方へ延びています。このことは地質図

を眺めることによって一目瞭然です。しかもこの石油は平原型の構造に埋蔵しています。やや詳しく申しますと 石油の産額のおおむね 90% は stratigraphic trap (不整合をも含めて) によります。ただしさすがに天然ガスの70%は背斜型によっております。ガスパイプはアメリカの Salt Lake City まで敷設の計画がある由です。(これは Salt Lake City のガス会社で聴取)すでにアルバータからオンタリオまで(青森~門司一往復半の距離)大パイプラインがあり石油資源をもてあましています。何という悠々さなのでしょうか。またアルバータ州には キンバレーという世界的に有名な銅・鉛・亜鉛の鉱山もあります。

私は以前にソ連を旅したことがあります。現在ソ連は盛んに世界に対して開発を誇示していますが わたくしはカナダこそ 世界中で第一級の有望国と考えております。

カナダ政府当局に一タ招待せられたとき 次官の隣に座し 少しソ連との比較論を議したのですが 終始 Going my way で進まれている感を受けました。私はただ あなた方は幸福であるとだけ発言したように覚えております。



Little Rock 市街(アーカンソー州)



St. Louis 市街(モンタナ州)



Sudbury 停車場(カナダ)



カナディアン ロッキー山脈



アルゴンウラン鉱山(カナダ Elliot Lake)